

コード	30202021
記入日	H24.6.8

課コード	110
課名	福祉長寿課
課長名	峯脇 泉
担当者	浦田 三喜男

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	民生委員・児童委員協議会補助事業
----------	------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	302	施策名称	協力し支えあう地域福祉の推進	項コード	1
基本事業コード	30202	基本事業名称	地域福祉推進体制の整備	目コード	1
事務事業コード	3020202	事務事業名称	民生委員・児童委員協議会補助事業費	細目コード	212
関連計画		法令・条例規則等	社会福祉法、新上五島町社会福祉法人等の助成に関する条例		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 住民		(対象指標1) 22,720人口(H23.4.1現在)					
(対象2)		(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****	<p>・民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、社会福祉増進のためにあらゆる分野で住民の福祉向上のために協力をいただいている。この活動費の一部とし町は、補助金を交付した。</p>	*****	*****	*****	補助金交付件数÷ 補助金交付予定件数	*****	
		①	補助金交付件数	1件	100%		平成23年度
		(達成率分析)	計画どおり補助金を交付した。				
		②					
		(達成率分析)					
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		*****	*****	*****	活動人員÷委員数	*****	
		①	活動人員数	98人	100%	平成23年度	
		(達成率分析)	定数98人全員に委嘱がなされ活動した。				
		②					
		(達成率分析)	相談・支援5,561件、その他の活動7,408件、訪問21,905件、連絡調整5,212件の活動を行った。				
		*****	*****	*****	活動件数÷ 活動計画件数	*****	
		②	活動件数	40,086件	100%	平成23年度	
		(達成率分析)					

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	7	7	6	1	1				
	②									
成果指標	① 人	490	490	392	98	98				
	② 件	158,847	158,847	118,761	40,086	40,086				
総事業費 C (A+B)	千円	59,403	59,403	51,578	7,825	7,825				
直接事業費 A	千円	51,003	51,003	44,578	6,425	6,425				
人件費 B	千円	8,400	8,400	7,000	1,400	1,400				
内訳	従事職員数	人	1.2	1.2	1.0	0.2				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	59,403	59,403	51,578	7,825	7,825				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	民生委員・児童委員が制度本来の趣旨に則り、社会福祉増進のため、また住民福祉の向上に向けて活動している。その活動が円滑に出来るよう交付している補助金なので、今後も引き続き交付する必要がある。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	民生委員・児童委員の活動をしていく上で、町から補助金は、必要不可欠なものであり、その成果はでている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	事業の性質上、成果を向上させる余地はない。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	町民の社会福祉向上のため活動は充分活動結果が出てる。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる 代えられない	理由	民生委員の活動は、住民の福祉向上にむけて活動なのでむずかしい。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	各種相談、訪問事業など積極的な活動・取組みのもとに町内の社会福祉向上に向け貢献がなされているものと判断する。
------------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。